

岐阜城北 甲子園へ

全国高校野球岐阜大会 決勝

▷決勝 (長良川球場)

岐阜城北	0	0	0	0	2	0	0	0	2	1	1	6
県岐阜商	2	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	5



県岐阜商破り9年ぶり4度目

第106回全国高校野球選手権岐阜大会最終日は27日、岐阜市の長良川球場で決勝を行い、岐阜城北が県岐阜商を延長十一回タイブレークの末、6―5で破り、前身の岐阜三田時代と合わせ9年ぶり4度目の甲子園出場を決めた。

岐阜城北は、2回戦で今春県4位の関商工に7―5でサヨナラ勝ちすると、準々決勝では昨夏覇者で春県8強の大垣日大に6―5でまたもサヨナラ勝ちするなど、ノーシードから4強に進出した。準決勝は昨秋県覇者で、今春県3位の岐阜第一に7―4で勝利。エースの中本陽大を中心とした投手陣と、主将の富田舜士や長江航佑らが並ぶ強力打線がうまくかみ合い、シード3校を撃破して勝ち上がった。参加68校64チームの頂点に立った。